



生徒の皆さんへ

先週から朝課外が始まり、私たちの日常もコロナ禍を受ける前に、少しずつ戻りつつあります。しかしながら、感染症リスクが完全に無くなった訳ではありません。今後いつどこで、また、感染症が再発生するかは誰もわかりませんので、生徒の皆さんは「新しい生活様式」を常に念頭において生活するように心掛けてください。

ところで、皆さんは近頃、新聞やテレビでよく見かける「コロナ禍」は何と読むかわかりますか？ コロナなべ？ 鍋？ コロナうず？ 渦？ ではありません。「コロナか」と読みます。禍は「わざわい」とも読む漢字ですが、主に人為的なミスなどにより発生した凶事に使われます。同じく「わざわい」には災という漢字がありますが、これは天災など防ぎようのない元凶によりもたらされた凶事に使われるようです。つまり、今回の出来事は、天災というよりも世界中を巻き込んだ人災の側面が強いという意味も込めて、マスコミが使用していると思われま。

ちなみに、禍は「禍福はあざなえる縄のごとし」の禍ですね。ちなみに「人生をより合わさった縄に例えて、人生の幸福と不幸は変転するものだ」という意味ですよ。今や、感染症だけでなく、緊急事態宣言による経済的なダメージも数多く受けており、一日も早く「禍（わざわい）転じて福となす」となってほしいものです。

芸人に学ぶ勉強法

5月26日のテレビ番組「アメトーク！ スペシャル～勉強大好き芸人～」から、参考までに、学歴自慢の芸人二人の勉強法を紹介します。

◎ロザン宇治原（京都大卒）の授業の受け方



理解（ノートは取らない）→整理（頭の中で）→ノートにアウトプット

まずは先生の話聞き逃さずよく聞いて話のポイントだけメモする。次に、なるほどと納得する。キリのいいタイミングで色を使わずめっちゃノートに書く。逆に効率の悪い人は、先生の話聞きながら、黒板をそのまま全写ししている。しかも色ペンを使って綺麗に書く。これでは先生の声も耳に入らず。写すことで満足して真剣にやっているつもりだが成績は…。あなたはどちらの授業の受け方ですか？

◎オリラジ中田（慶応義塾大卒）の勉強のやり方

- ①夜9時に寝て、深夜3時に起きて勉強（皆が寝ているので、誘惑が少ない）
- ②薄い問題集を何冊もする（文系）、特定の問題集を繰り返す（理系）
- ③カンニングペーパーを作る（要点をまとめる作業のこと。試験前に破棄する）
- ④リフレッシュする時間を作る（遊びではなく、違う科目の勉強で味変させる）
- ⑤電子辞書を使わない（紙の辞書を使って、付箋紙をつけていけば弱点発見）
- ⑥身体を動かしながら覚える（歩きながら音読する。更にジェスチャー付きで）
- ⑦勉強したことをアウトプットする（問題を作ったり、友人と出し合ったりetc）

※いいなと思ったら、即行動。行動を変えなきゃ思うだけでは何も変わらない！

人生語録（各界の名言）

そりゃ、僕だって勉強や野球の練習は嫌いですよ。

だってそうじゃないですか。

つらい、大抵はつまらないことの繰り返し。

でも、僕は子供のころから、目標を持って努力するのが好きなんです。

だってその努力が結果として出るのうれしいじゃないですか。

イチロー（本名：鈴木一郎，シアトルマリナーズ*特別補佐兼インストラクター）

日本人初のメジャーリーガー外野手／日米通算4367安打ギネス認定

読書への誘い（本校図書室に置いてある本）

「手紙屋 蛍雪編」～私の受験勉強を変えた十通の手紙～ 喜多川 泰 著



皆さんは「高校で勉強する意味ってなんだろう？大学には行きたいけどなんのために進学するの？勉強はやらなきゃいけないんだけど、なぜか勉強のやる気が出ない……」ってことよくありませんか？何を隠そうこの私も高校時代にこのような経験があります。

そんなお悩みを持つあなたに是非読んでほしい本が、手紙屋蛍雪編～私の受験勉強を変えた十通の手紙です。

この本は、受験勉強をやらなきゃなと思い始めた高校2年生の「和花」が、手紙屋という人物と十通の手紙のやり取りを通して、勉強する意味や大学受験をする理由を発見していくというストーリーです。内容は、今時の高校生の気持ちがそのまま書いてあるせいか、難しいことは一切書かれておらず、とっても軽くサクサクッと読むことができます。

読み始めると止まらなくなり、一気に読めます。

なぜ勉強するのか？自分の将来のため？勉強して一流大学に行っても将来が保証されるわけではないのになぜ？勉強して幸せになれるわけではないのに？

そんな疑問をもつあなた、疑問を解決するヒントをつかみましょう。きっと、勉強を頑張っている友達とはとっくに読んでいるかも。読んでいないあなた、この機会に図書室へ足を運んで、まずは手に取ってみてください。勉強の見方が変わりますよ。

保護者の皆様へ

新型コロナウイルス感染症拡大のリスク軽減にともなって、国の緊急事態宣言も全ての都道府県で解除されました。最悪の事態に陥ることなく、一安心していますが、引き続き気を緩めることなく、来るかもしれない第二波に備えたいものです。

さて、学校も先週から、朝課外がスタートして、当たり前の日常に戻りつつあります。御家庭でも登校時間が早くなり、いろいろと気苦労も多いことかと存じます。遅刻を気にするあまり、気のあせりからくる交通事故の防止等のため、何卒、早めの起床、朝食、準備等、そして、早めの登校に御協力のほどお願い致します。